

R6年度 事務事業評価シート

165 課・局・室・所(係) 商工労働課 商工労働係 事務事業番号 221010203

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	21	多様な働く場の確保	1	就業対策の充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	就業対策推進事業	3	地域職業相談室管理事業				政策的
	公共職業安定所の再編に係る代替措置として国(ハローワーク宇部)と市が共同して平成21年4月6日から地域職業相談室を設置している。雇用能力開発支援センター内に設置し、求人情報提供、職業相談、職業紹介等就職支援を行っている。				対象	離職者・求職者		
					手段	国と市の協働による相談窓口の設置		
					意図	就職支援		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	通信運搬費	208千円	通信運搬費	217千円	建物借上料	4,864千円	建物借上料	4,864千円		
					光熱水費負担金	233千円	光熱水費負担金	324千円		
					通信運搬費	281千円	通信運搬費	264千円		
					機械警備業務負担金	132千円	機械警備業務負担金	132千円		
	合計	208千円		217千円		5,510千円		5,584千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源	208千円		217千円		5,510千円		5,584千円		
合計	208千円		217千円		5,510千円		5,584千円			
人工数 人件費	0.01人	57千円	0.06人	350千円	0.05人	296千円				
総経費		265千円		567千円		5,806千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7
1	求職相談等件数 (システム利用件数)	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く	できるだけ多く
		2,332人	2,332人	1,830人	
2		-	-	-	
3					

成果	令和6年度よりAスクエア内に移転し、同施設内の社会福祉協議会や市民活動センターとの連携関係ができてきた。また、セミナールームを設置したことで、小規模なセミナーの開催がしやすくなった。				
R8年度に向けた課題及び改善策	来所等の人数が前年度より若干減少している。オンライン相談ができるようになったことも要因の1つとは考えられるが、移転したことに関する周知も引き続き実施していく必要がある。				
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

166 課・局・室・所(係) 商工労働課 商工労働係 事務事業番号 221010204

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	21	多様な働く場の確保	1	就業対策の充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	就業対策推進事業	4	就業対策促進事業				政策的
	市、ハローワーク及び商工会議所が連携して、本市独自の「就職フェア」及び「就職面接会」を開催する。地元にて特化した就職説明会とすることで、地元企業の雇用確保を支援し、また、若者の地元定着を目指す。				対象	市内企業及び一般求職者		
					手段	「就職フェア」又は「就職面接会」の開催		
					意図	本市企業のPRや人材確保、求職者の市内就業を支援する。		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	消耗品費	17千円	印刷製本費	41千円	消耗品費	29千円	印刷製本費	40千円		
	庁用器具費	55千円	消耗品費	19千円			消耗品費	20千円		
	合計	72千円	合計	60千円	合計	29千円	合計	60千円		
	国庫支出金	1/2	36千円	1/2	30千円	1/2	14千円	1/2	30千円	
財源内訳 / 割合	県支出金									
	地方債									
	その他									
一般財源		36千円		30千円		15千円		30千円		
合計		72千円		60千円		29千円		60千円		
人工数	人件費	0.04人	229千円	0.04人	233千円	0.05人	296千円			
総経費		301千円		293千円		325千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7	
1	参加事業所数 (就職フェア及び面接会合計)	活動	40事業所	40事業所	30事業所	30事業所
			10事業所	22事業所	23事業所	
			25.00%	55.00%	76.70%	
2	参加者数	成果	100名	100名	75名	75名
			33名	48名	56名	
			33.00%	48.00%	74.70%	
3						

成果	人材確保困難分野について重点的に説明会・面接会を実施した。事業者からは、面接会への参加を希望する声が多く聞かれた。参加者は目標に達しなかったが、6名の就職につながった。				
R8年度に向けた課題及び改善策	「面接会」という名称だと参加者が集まりにくいという意見があり、6年度途中から「説明会&面接会」と改めた。参加者の増加を図り、人手不足に悩む事業者の支援につなげるため、今後もハローワークと協力し、周知に努める。				
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	国庫支出金:デジタル田園都市国家構想交付金				

R6年度 事務事業評価シート

167

課・局・室・所(係)

商工労働課

商工労働係

事務事業番号

221010208

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	21	多様な働く場の確保	1	就業対策の充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	就業対策推進事業	8	高齢者就業機会確保事業(臨時)				政策的
	高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、山陽小野田市シルバー人材センターに対し補助金を交付する。国の定める高齢者就業機会確保事業の執行方針により、女性会員数の増加割合に応じた加算が可能なことから、従来の運営費補助に対し加算を行うもの。				対象	山陽小野田市シルバー人材センター		
					手段	補助金の交付		
					意図	センターの計基盤安定による高齢者の就業機会確保、拡大		

事業期間	R6 年度	～	R6 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳					高齢者就業機会確保事業費補助金	400千円		
	合計					400千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						400千円	
合計						400千円		
人工数 人件費					0.01人	59千円		
総経費						459千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	シルバー人材センター会員数(4月1日現在)	活動	410人	394人	できるだけ多く 374人	
2	シルバー人材センター女性会員数(4月1日現在)	活動	131人	137人	できるだけ多く 127人	
3						

成果	シルバー人材センターでは、企業等における定年延長等の影響もあり会員数は減少傾向が続いている状況ではあるが、会員拡大のため啓発活動や研修会・講習会の開催等に取り組んでいる。					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

168 課・局・室・所(係) 商工労働課 企業立地推進室 事務事業番号 222010103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	22	企業立地の推進		1	企業誘致の推進		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	企業誘致推進事業	3	工場設置奨励金等交付事業		3-(4)			政策的	
事業概要	厳しい都市間競争の中で企業誘致を進めるため、工場設置奨励条例による優遇措置(工場設置奨励金、雇用奨励金、用地取得奨励金、従業員住宅新設奨励金)を特典とし、企業誘致活動を展開する。					対象	(市内、市外)企業		
						手段	企業からの申請に基づき、奨励金を交付する		
						意図	企業誘致の推進		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)				R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	用地取得奨励金	167,415千円	用地取得奨励金	62,554千円	用地取得奨励金	232,639千円	用地取得奨励金	181,915千円		
	工場設置奨励金	36,897千円	工場設置奨励金	28,739千円	工場設置奨励金	30,015千円	工場設置奨励金	24,279千円		
	従業員住宅新設奨励金	974千円	雇用奨励金	200千円	従業員住宅新設奨励金	951千円	雇用奨励金	1,200千円		
			従業員住宅新設奨励金	1,095千円						
合計	205,286千円		92,588千円		263,605千円		207,394千円			
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
一般財源	205,286千円		92,588千円		263,605千円		207,394千円			
合計	205,286千円		92,588千円		263,605千円		207,394千円			
人工数 人件費	0.20人	1,147千円	0.20人	1,165千円	0.20人	1,182千円				
総経費	206,433千円		93,753千円		264,787千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	奨励金交付件数	活動	できるだけ多く 13件	できるだけ多く 12件	できるだけ多く 11件	できるだけ多く
2						
3						

成果	企業団地への進出に伴う工場等の新設に加え既存企業の設備投資も一定数あり、交付件数は多くなっている。奨励金の交付により企業の進出や設備投資の促進につながっている。					
R8年度に向けた課題及び改善策	近年企業団地への進出が続いており、引き続き早期完売に向けて、優遇制度を積極的にPRし、県と協調して企業誘致を進める必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

169 課・局・室・所(係) 商工労働課 商工労働係 事務事業番号 223010102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	23	商工業の振興	1	商業振興支援の充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	既存商店街振興事業	2	空き店舗等利活用支援事業	3-(4)			政策的	
事業概要	市内の指定地区において、空き店舗を活用して事業をする者(既存事業者、新規起業者等)に対して、当該店舗において事業を開始するための「リニューアルの費用」の一部を補助する。 令和6年度より、指定地区の一部(旧セメント町商店街周辺)について、補助金の上限額の引き上げを行い、中心市街地の活性化を図る。				対象	空き店舗を改修し、事業を始める者		
					手段	店舗等のリニューアルに対する補助を行う。		
					意図	事業者に対して、事業開始時の負担軽減を図る。商業振興、地域経済の増進		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	空き店舗等	1,000千円	空き店舗等	500千円	空き店舗等				空き店舗等	2,000千円
	リニューアル補助金		リニューアル補助金		リニューアル補助金				リニューアル補助金	
	合計	1,000千円		500千円						2,000千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	1,000千円	ふるさと支援基金	500千円				ふるさと支援基金	2,000千円
	一般財源									
合計		1,000千円		500千円						2,000千円
人工数	人件費	0.02人	115千円	0.02人	117千円	0.02人	118千円			
総経費		1,115千円		617千円			118千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	補助事業利用者	活動	2件	3件	4件	4件
			2件	1件	0件	
			100.00%	33.33%	0.00%	
2	空き店舗数(小野田駅前商店街、厚狭商店街)	成果	7店舗	6店舗	5店舗	5店舗
			10店舗	12店舗	8店舗	
			—	—	—	
3						

成果	令和6年度より、旧セメント町商店街周辺について対象区域の拡大と補助上限額の引き上げを実施し、商工会議所と連携して周知に努めた。相談は増加したが、交付には至らなかった。補助金を活用したものではないが、空き店舗を活用した開店が4件あったことと、店舗の除却が2件あったことから前年度よりも空き店舗数が減少した。					
R8年度に向けた課題及び改善策	旧セメント町商店街周辺については、令和6年度末に設定された空家等活用促進区域と同一区域とし、関係団体等と連携して補助制度の周知に努める。					
目標達成度	D	R8年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	②
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

170

課・局・室・所(係)

商工労働課

商工労働係

事務事業番号

223010103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	23	商工業の振興	1	商業振興支援の充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	既存商店街振興事業	3	商店街等活性化事業(臨時)				政策的	
事業概要	商店街等の活性化を図るため、共同施設(街路灯、アーケード等)の整備やイベント開催に対して補助金の交付を行う。 【9月補正】 小野田商工会議所が主催する「おのだクリスマス花火2024」に対し補助金を交付する。このイベントについては、以前実施されていたおのだまつりやおのだ花火大会がなくなり、市民からのニーズが高いこと、また、地域活性化や市の魅力発信につながることから実施されるものであり、市としても支援すべきものとする。				対象	商店街施設を整備する団体、イベントを主催する団体		
					手段	補助金交付		
					意図	商店街等の振興		

事業期間	R6 年度	～	R11以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳					商業振興諸行事補助金	1,000千円	商業振興諸行事補助金	1,000千円
	合計					1,000千円		1,000千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源						1,000千円	1,000千円
合計						1,000千円		1,000千円
人工数 人件費					0.01人	59千円		
総経費						1,059千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	補助実績件数	活動			1件 1件 100.00%	1件
2						
3						

成果	補助対象事業である「おのだクリスマス花火2024」には、市内外から2万人が来場した。小野田商工会議所会員事業者を中心とした飲食バザーも開催され、地域の活性化や地元飲食業の消費拡大等の効果があった。					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

171

課・局・室・所(係)

商工労働課

商工労働係

事務事業番号

223010205

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	23	商工業の振興	1	商業振興支援の充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	商業振興支援事業	5	創業支援事業	3-(4)			政策的
	「山陽小野田市創業支援等事業計画」に基づき、創業を希望する方への個別相談、会計処理相談などの各種相談会、短期の集中セミナー(起業塾)等を実施する。また、市内で創業を希望する方を対象に、おのだサンパーク内の店舗スペースを一定期間提供する「チャレンジショップ」を実施する。創業後の伴奏支援として、「山陽小野田市創業支援等事業計画」に基づく特定創業支援事業を受けた事業者に対し、補助金を交付する。創業後、1年経過したことを交付要件とし、1年度につき10万円、3年間交付する。				対象	創業しようとする者、創業者		
					手段	相談会等の実施、補助金の交付		
					意図	創業前から創業後まで切れ目のない支援を行う		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
支出内訳	創業応援事業補助金	1,200千円	創業応援事業補助金	1,600千円	創業応援事業補助金	2,500千円	創業応援事業補助金	2,500千円	創業応援事業補助金	3,400千円
	創業支援業務委託料	2,830千円	創業支援業務委託料	2,492千円	創業支援業務委託料	2,427千円	創業支援業務委託料	2,427千円	創業支援業務委託料	2,848千円
	合計	4,030千円		4,092千円		4,927千円		4,927千円		6,248千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	4,030千円	ふるさと支援基金	4,092千円	ふるさと支援基金	4,927千円	ふるさと支援基金	4,927千円	ふるさと支援基金
一般財源					企業版ふるさと納税					
合計	4,030千円		4,092千円		4,927千円		4,927千円		6,248千円	
人工数	0.05人	115千円	0.06人	117千円	0.07人	414千円				
総経費	4,145千円		4,209千円		5,341千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7	
1	創業相談件数(創業支援等事業計画に基づく支援実施者)	活動	100件	120件	150件	150件
			164件	162件	178件	
			164.00%	135.00%	118.67%	
2	創業者(創業支援等事業計画に基づく支援実施者)	成果	25人	25人	25人	25人
			26人	33人	28人	
			104.00%	132.00%	112.00%	
3	創業応援事業補助金交付件数	活動	19件	15件	23件	28件
			12件	16件	25件	
			63.16%	106.67%	108.70%	

成果	全ての指標において、目標を上回る実績となった。創業に係る相談等については、商工会議所と緊密に連携し、補助制度や融資制度等の周知や創業後のフォローアップを実施している。					
R8年度に向けた課題及び改善策	創業支援とあわせ、事業承継支援についても商工会議所や山口県、事業承継・引継ぎ支援センター等関係機関と連携して取り組む必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

172 課・局・室・所(係) 商工労働課 商工労働係 事務事業番号 223010207

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)			小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	23	商工業の振興		1	商業振興支援の充実		
	実施計画名		事務事業名			重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	商業振興支援事業	7	山口東京理科大学学生定住促進事業		3-(1)			政策的
	山口東京理科大学には市内からの進学はもとより市外、県外から多くの学生が入学してくることから、本市の住民基本台帳に登録されている山口東京理科大学の学生に対して、インセンティブとして「住まいる奨励金」を支給し、本市への定住を促進させるとともに商業振興を図る。交付業務は公立大学法人山口東京理科大学に委託する。					対象	山陽小野田市の住民基本台帳に登録している学生		
						手段	市内の協力店で買い物をした学生に1人当たり最大3万円を「住まいる奨励金」として交付する		
						意図	若者の定住人口の確保及び商業振興		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	市内定住促進業務委託料	3,107千円		市内定住促進業務委託料	5,594千円	市内定住促進業務委託料	5,575千円			
	合計	3,107千円		5,594千円	5,575千円					
	国庫支出金									
	県支出金									
財源内訳/割合	地方債									
	その他									
	一般財源	3,107千円		5,594千円	5,575千円					
	合計	3,107千円		5,594千円	5,575千円					
人工数	0.02人	115千円	0.03人	175千円	0.03人	177千円				
総経費	3,222千円		5,769千円	5,752千円						

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	入学時に山陽小野田市の住民基本台帳に登録している学生(1年生)の割合	成果	60%	60%	60%	
			42.8%	53.3%	52.4%	
			71.3%	88.83%	87.33%	
2	住まいる奨励金交付数	活動	-	-	-	-
			103人	187人	185人	
			-	-	-	
3						

成果	事業開始当初は市内在住の割合が3割に満たない状況であったが、現在は5割を超えてきている。住民登録のない居住者を含めると65%を超えており、市内在住者を増やすという目的に対しては一定の成果があった。					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

173 課・局・室・所(係) 商工労働課 商工労働係 事務事業番号 223010210

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	23	商工業の振興	1	商業振興支援の充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	商業振興支援事業	10	商工会議所運営事業(臨時)				政策的
	LABVプロジェクトにより整備された「Aスクエア」を市民等の交流の拠点とし、にぎわいの創出を図るため、施設の一部に市民等が誰でも利用できるネットブースやフリーカウンター等を設置する。				対象	小野田商工会議所		
					手段	補助金の交付		
					意図	Aスクエア周辺のにぎわいの創出		

事業期間	R6 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳					商工会議所補助金	2,484千円	商工会議所補助金	2,484千円
合計						2,484千円		2,484千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					2,484千円		2,484千円
合計						2,484千円		2,484千円
人工数 人件費					0.01人	59千円		
総経費						2,543千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	ネットブース、フリーカウンター等の利用者	活動			できるだけ多く 345人 -	できるだけ多く
2						
3						

成果	ネットブース、フリーカウンターを会員や一般の方へ開放するとともに、会議室を「創業・承継支援センター」として活用し、創業希望者への個別相談やその他専門家による相談会等に活用した。また、市が開催する事業承継個別相談会の会場としても活用した。					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

174

課・局・室・所(係)

商工労働課

商工労働係

事務事業番号

223020103

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	23	商工業の振興	2	中小企業支援の充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	中小企業経営支援事業	3	中小企業振興推進事業	3-(4)			政策的	
事業概要	平成27年6月に制定した「山陽小野田市中小企業振興条例」に基づき、各種中小企業振興事業を推進する。KPIなどを活用し、進捗状況を検証していく。				対象	本市の中小企業の振興に関する推進計画		
					手段	協議会を開催し、推進計画の策定及び検証を行う		
					意図	商業振興、市内中小企業の発展		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
支出内訳										
	合計									
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源									
合計										
人工数 人件費	0.00人		0.00人		0.00人					
総経費										

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	推進計画の策定・検証	活動	策定	策定	検証	検証
			未策定	—	—	—
			0%	—	—	—
2	協議会の開催	活動	5回	5回	4回	2回
			—	—	—	—
			—	—	—	—
3						

成果	前回同様の計画を策定した場合、社会情勢等に合わせた中小企業振興に係る施策を柔軟に実行することに支障が出るのが想定されたため、計画の必要性を含めた検討を行うこととした。					
R8年度に向けた課題及び改善策	中小企業振興に係る施策については、計画期間や計画掲載内容にかかわらず柔軟に立案・実施することが求められることから、実効性のある計画となるよう構成を検討する。					
目標達成度	D	R8年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	縮小	③	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

175 課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 224010106

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
1	農業生産者支援事業	6	農地中間管理機構事業				政策的
事業概要	農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な農業の実現のため、農地中間管理機構を活用し、担い手への農地集積と集約化を図る。「農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想」において令和5年度末を目標に担い手への集積率を概ね70%とすることとしているため、集積目標は70%(担い手人数R10年度 70人)とする。				対象	担い手農業従事者	
					手段	農地の中間受け皿として県農地中間管理機構が整備され、担い手への農地集積と集約化を行う。	
					意図	担い手への農地集積の促進・農地の集約化の加速化	

事業期間	R2以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	機構集積協力金	5,281千円		農地集積協力補助金	12,790千円		農地集積協力補助金	1,227千円	農地集積協力補助金	450千円
	合計	5,281千円		12,790千円			1,227千円		450千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金	10/10	5,281千円	10/10	12,790千円	10/10	1,227千円	10/10	450千円	
	地方債									
	その他									
	一般財源		千円							
合計		5,281千円		12,790千円		1,227千円		450千円		
人工数 人件費	0.02人	115千円		0.11人	641千円		0.16人	946千円		
総経費		5,396千円		13,431千円		2,173千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	担い手への農地の集積率	成果	35.0%	70.0%	70.0%	70.0%
			32.3%	33.9%	34.3%	
			92.29%	48.43%	49.00%	
2						
3						

成果	令和6年度においては高千帆地区(旭町・石井手・角石)で、農地の集積・集約化が図られた。				
R8年度に向けた課題及び改善策	策定した地域計画を推進し、今後農地をどう守るか等、地域での話し合いを引き続き実施していき、担い手へ農地の集積・集約化を図っていく。				
目標達成度	D	R8年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

176 課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 224010107

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	農業生産者支援事業	7	担い手支援事業				政策的
	担い手の育成・確保を図るため経営発展を目指す認定農業者の農業用機械・施設の導入経費の一部を支援する。 ○補助対象 農産物の生産、農業経営の開始または改善に必要な機械(10万円以上)・施設の取得に要する経費 ○補助金額 事業費の1/2 上限機械50万円・施設100万円(5年間の認定期間中に1回限り)				対象	認定農業者(令和7年3月末現在59名)		
					手段	機械・施設の整備に要した経費の1/2を補助する。		
					意図	担い手の確保・育成		

事業期間	R2	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	担い手支援事業補助金	4,816千円		担い手支援事業補助金	3,867千円		担い手支援事業補助金	4,976千円	担い手支援事業補助金	4,000千円
	合計	4,816千円		3,867千円		4,976千円		4,000千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	4,816千円	ふるさと支援基金	3,867千円	ふるさと支援基金	4,976千円	ふるさと支援基金	4,000千円	
	一般財源									
合計	4,816千円		3,867千円		4,976千円		4,000千円			
人工数	0.03人	172千円		0.06人	350千円		0.15人	887千円		
総経費	4,988千円		4,217千円		5,863千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	交付決定数	成果	10件	10件	10件	10件
			16件	9件	12件	
			160.00%	90.00%	120.00%	
2	認定農業者数	活動	59人	61人	63人	65人
			62人	63人	59人	
			105.08%	103.28%	93.65%	
3						

成果	農業用機械・施設の経費の一部を支援することにより、担い手の育成・確保を行うことができた。				
R8年度に向けた課題及び改善策	認定農業者等の担い手に継続的な農業用機械・施設の経費に対する支援を行うことで育成及び確保を図っていく、担い手の要望に応じていく必要がある。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

177

課・局・室・所(係)

農林水産課

農林係

事務事業番号

224010109

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	農業生産者支援事業	9	6次産業化・農商工連携応援事業	3-(4)			政策的
	農林水産業従事者の高齢化が進む中で、担い手や労働力の確保が益々困難になると予想される中、農林水産業が発展していくためには、「売れる商品づくり」が必要であり、現代のニーズに合った商品開発や適切な販路開拓が課題となっている。しかし、農林水産業者は家族経営や小規模な企業が多く、消費者ニーズを踏まえた取組を単独で実施することは難しい。そこで、市内農林水産物を使用した、真に売れる新商品開発など、販路拡大までの総合的な支援を行うことで、成功事例を創出し、農林水産業全体の発展に寄与する。				対象	市内農林水産物を使用していること。		
					手段	6次産業化・農商工連携応援協議会の取組に対する補助(定額)及び同協議会の支援を受け作成した6次産業化・農商工連携応援プランを実行するために必要な経費の1/2を補助する。		
					意図	成功事例を創出し、農林水産業全体の発展に寄与する。		

事業期間	R3	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	協議会補助金	875千円		協議会補助金	1,486千円		6次産業化・農商工	1,159千円		
	応援事業補助金			応援事業補助金	189千円		連携応援事業補助金			
	合計	875千円			1,675千円			1,159千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他			ふるさと支援基金	1,675千円		まちづくり魅力基金	1,159千円		
一般財源	875千円									
合計	875千円			1,675千円			1,159千円			
人工数 人件費	0.50人	2,866千円		0.10人	583千円		0.30人	1,773千円		
総経費		3,741千円			2,258千円			2,932千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	6次産業化・農商工連携応援プランの実行	活動	2	2	2	2
			0	2	1	
			0.00%	100.00%	50.00%	
2	市ふるさと納税返礼品新規登録数	成果	2	2	2	2
			0	0	1	
			0.00%	0.00%	50.00%	
3						

成果	6次産業化・農商工連携応援プランについては、事業者の認定に至らなかったが、R5年度のプラン実行を2事業者のうち1事業者のみ事業活用を行うこととなった。					
R8年度に向けた課題及び改善策	R6年度に1事業者のふるさと納税返礼品への登録を行ったが、当該事業を活用した商品開発には至らなかった。今後は、県事業の活用を含めた新しい事業への見直しを検討する必要がある。					
目標達成度	C	R8年度に向けた方向性				
	成果	休廃止	コスト	皆減	⑦	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

178 課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 224010110

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	農業生産者支援事業	10	地域計画策定推進緊急対策事業				政策的
	地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿や農地利用者を明確化した地域計画の策定に取り組む。 (1)集落・地域における協議の開催 (2)将来の農地利用の姿等の検討・作成 (3)関係者への意見聴取 (4)地域計画の策定 (5)周知・フォローアップ等				対象	市		
					手段	地域における話し合いの開催		
					意図	地域計画を通して農地の集約化等を進める。		

事業期間	R5 年度	～	R6 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	職員手当(時間外)	89千円	職員手当等	125千円	職員手当等	334千円		
	消耗品費	22千円	消耗品費	37千円	通信運搬費	112千円		
	通信運搬費	42千円	通信運搬費	45千円	消耗品費	48千円		
			会場借上料	2千円	会場借上料	5千円		
合計	153千円		209千円		499千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金	10/10	153千円	10/10	209千円	10/10	499千円	
	地方債							
	その他							
	一般財源							
合計	153千円		209千円		499千円			
人工数 人件費	0.00人		0.31人	1,806千円	0.31人	1,833千円		
総経費	153千円		2,015千円		2,332千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	農業者等から意見を聴取する会合の開催	活動	5地区	5地区	4地区	
			1地区	5地区	4地区	
			20.00%	100.00%	100.00%	
2	地域計画策定	成果	5地区	5地区	9地区	
			1地区	0地区	9地区	
			20.00%	0.00%	100.00%	
3						

成果	令和6年度に4地区において地域の話合いを開催し、目標地区の素案などを作成したことで9地区すべての地域計画を策定することができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	地域計画は、令和6年度までに策定することとされているが、令和7年度以降も地域の話合いを開催し、目標地区の完成度を高める必要があるため、令和7年度以降は地域計画の見直しを推進していく。しかし、国の事業である当該事業は令和6年度で終了するため、今後の国の動向を注視しながら予算確保に努めたい。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
	成果	完了	完了年度	R6	-	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

179 課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 224010114

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
事業概要	1	農業生産者支援事業	14	地域農業資源リノベーション事業			政策的
	遊休資産となっている中古農業用施設や中古農業用機械を改修した後、購入する経費に対して支援する。				対象	営農規模を拡大するために機械もしくは施設を整備する農家	
					手段	機械・施設の整備に対し、1/3の補助を行う。	
				意図	遊休資産を利活用できる仕組みを新たに構築し、営農開始時の初期投資のハードルを下げることで、新規就農者等の確保を促進する。		

事業期間	R6 年度	～	R8 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳					度地域農業資源リ	1,043千円		
					ノベーション事業補助金			
合計						1,043千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金				10/10	1,043千円		
	地方債							
	その他							
	一般財源							
合計						1,043千円		
人工数 人件費					0.10人	591千円		
総経費						1,634千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	補助人数	成果			1件 1件 100.00%	
2						
3						

成果	県の事業を活用し、新規就農者等の営農開始時の費用負担を支援するとともに、ユニットハウスやトラクターなどの遊休資産を利活用することができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	営農開始時の初期投資には多額の費用が必要になるため、国や県の事業を活用しつつ、市の単独事業も組み合わせることで、新規就農者等を支援し、事業周知にも努める。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	完了	完了年度	R6	-
特記事項	県事業の期間は令和6年度から令和8年度までであるため、事業を周知し活用できるよう努める。					

R6年度 事務事業評価シート

180 課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 224010202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	新規就業者支援事業	2	新規就農・就業者定着支援事業				政策的
	新規就農者を雇用又は、構成員として受け入れた法人が、国の農の雇用事業を2年間活用した後に継続して雇用等を行う場合、単県事業で最長3年間の支援を行なう。				対象	新規就農者を雇用又は、構成員として受け入れた法人		
				手段	国の農の雇用事業(120万円/年)を2年間活用後に継続して雇用する法人に対し、3年目90万円、4年目60万円、5年目30万円を給付する。			
				意図	県内外からの新規就農・就業者び確保対策を一層加速化するため、新規就農・就業者の定着支援を図る。			

事業期間	R2以前	年度	～	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	新規農業就業者	1,975千円		新規農業就業者	2,300千円		新規農業就業者	2,350千円	新規農業就業者	2,350千円
	定着促進事業補助金			定着促進事業補助金			定着促進事業補助金		定着促進事業補助金	
	合計	1,975千円		2,300千円			2,350千円		2,350千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金	1/2	987千円	1/2	1,150千円	0.5	1,175千円	0.5	1,175千円	
	地方債									
	その他									
一般財源	1/2	988千円	1/2	1,150千円	0.5	1,175千円	0.5	1,175千円		
合計	1,975千円		2,300千円			2,350千円		2,350千円		
人工数 人件費	0.10人	573千円	0.21人	1,223千円	0.21人	1,241千円				
総経費	2,548千円		3,523千円			3,591千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	新規就農者受入法人数	成果	5法人	5法人	5法人	5法人
			2法人	3法人	3法人	
			40.00%	60.00%	60.00%	
2	補助対象人数	成果	10人	10人	10人	10人
			8人	5人	5人	
			80.00%	50.00%	50.00%	
3						

成果	新規就農者受入法人数は5法人あり、新規就業者数は5人であったが、事業活用は3法人にとどまった。				
R8年度に向けた課題及び改善策	新規就業者受入れのPR活動や本事業をPR活動が必要である。				
目標達成度	C	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

181 課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 224010205

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)		
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化	
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング
事業概要	2	新規就業者支援事業	5	新規就農者支援事業	3-(4)		政策的
	経営の不安定な就農初期段階の新規就農者に対し、農業用機械又は施設等の整備に要する経費の一部を補助し、経営の安定化及び次世代を担う農業者を確保・育成することを目的とする。				対象	認定新規就農者(就農時18歳以上50歳未満の者で、就農後5年以内の者)	
					手段	農業用機械及び施設整備に係る経費の補助。補助率1/2、上限額 機械150万円・施設250万円 家賃補助。補助率1/2、上限額 月額2.5万円	
				意図	次世代を担う農業者の確保・育成及び移住促進		

事業期間	R1以前	年度 ~	R9以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
支出内訳	新規就農者支援事業補助金	1,696千円	新規就農者支援事業補助金	724千円	新規就農者支援事業補助金	288千円	新規就農者支援事業補助金	5,088千円	
	合計	1,696千円	724千円	288千円	5,088千円				
	国庫支出金	新型コロナ地方創生臨時交付金 1,696千円							
	県支出金								
財源内訳/割合	地方債								
	その他							ふるさと支援基金	5,088千円
	一般財源			724千円	288千円				
合計	1,696千円	724千円	288千円	5,088千円					
人工数 人件費	0.10人	573千円	0.10人	583千円	0.22人	1,300千円			
総経費	2,269千円	1,307千円	1,588千円						

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7
1 補助人数	成果	2人	2人	2人	2人
		1人	2人	1人	
		50.00%	100.00%	50.00%	
2					
3					

成果	令和6年度は認定新規就農者を新たに確保することができなかったが、年度末に青年等就農計画認定審査委員会を開き、3名を認定する見込みである。				
R8年度に向けた課題及び改善策	引き続き新規就農者の確保に努め、本事業をPRを行う。				
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

182 課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 224010402

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	林業振興事業	2	市有林整備事業				政策的
	多面的機能を有する森林を、無秩序な伐採や開発、荒廃から守り、長期的な視点にたった適切な森林の取扱いを推進する。間伐については本数率にして30%以上、樹冠疎密度が間伐後5年で8/10以上となるように実施。間伐回数2~5回。 【補助率 標準補助単価*4/10*査定係数】					対象	市有林	
					手段	カルスト森林組合へ業務を委託する。		
					意図	水源かん養や国土の保全など森林の持つ多面的機能を持続的に発揮する。		

事業期間	R2以前	年度 ~	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	委託料	2,866千円	委託料	2,709千円	市有林整備委託料	2,928千円	市有林整備委託料	3,000千円	
	合計	2,866千円		2,709千円		2,928千円		3,000千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金	1,368千円		1,634千円		1,500千円		1,200千円	
	地方債								
	その他								
	一般財源	1,498千円		1,075千円		1,428千円		1,800千円	
合計	2,866千円		2,709千円		2,928千円		3,000千円		
人工数 人件費	0.10人	573千円	0.10人	583千円	0.15人	887千円			
総経費		3,439千円		3,292千円		3,815千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	市有林施業面積	活動	5.00ha	5.00ha	5.00ha	5.00ha
			3.58ha	2.86ha	1.99ha	
			71.60%	57.20%	39.80%	
2						
3						

成果	合板製材事業として、間伐を行い、これに伴って作業道を開設した。				
R8年度に向けた課題及び改善策	計画的で適切な管理を行い、市有林の機能保全を継続的に進めていく必要がある。				
目標達成度	D	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

183 課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 224010403

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	林業振興事業	3	森林経営管理事業				政策的
	森林経営管理法に基づき、私有人工林における森林経営の意向調査を行い、森林所有者自らが経営管理を実行できない森林を市が経営管理の委託を受け、森林経営に適した森林は意欲と能力のある林業経営体に経営管理の再委託を行う。市が経営管理の委託を受けた森林の内、自然的条件に照らして林業経営に適さない森林や再委託に至るまでの森林は市が間伐等の経営管理を実施する。 また森林環境整備基金からの繰入金を財源に、民有林の整備環境促進、荒廃抑制を目的に林道及び作業道の路網整備を実施する。				対象	私有人工林		
					手段	森林経営管理法に基づく経営管理権集積・経営管理実施権配分 林道など路網の維持管理業務・造林支援補助		
					意図	林業の成長産業化・森林の適正管理		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	修繕料		236千円	森林資源調査委託料		6,138千円	計画策定委託料	3,347千円	森林経営管理施策委託料	4,700千円
	意向調査業務委託料		2,977千円	林道等維持管理業務委託料		4,213千円	管理委託料	4,848千円	意向調査業務委託料	3,600千円
	林道等維持管理業務委託料		2,263千円	造林事業補助金		180千円	工事請負費	千円	管理委託料	3,000千円
	森林経営管理施策委託		825千円				造林事業補助金	67千円	造林事業補助金	1,200千円
	造林事業補助金		72千円						備品購入費	1,000千円
	合計		6,373千円			10,531千円		8,262千円		13,500千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	森林環境整備基金繰入金	6,373千円	森林環境整備基金繰入金	10,531千円	森林環境整備基金繰入金	8,262千円	森林環境整備基金繰入金	13,500千円	
	一般財源		千円							
合計		6,373千円			10,531千円		8,262千円		13,500千円	
人工数	人件費	0.15人	860千円	0.10人	583千円	0.15人	887千円			
総経費		7,233千円			11,114千円		9,149千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7	
1	山川地区における森林経営管理事業 (R4意向調査、R5資源量調査、R6集積計画、R7森林施業)	活動	100件	33ha	10ha	4.26ha
			43件	45ha	4.26ha	
			43.00%	136.36%	42.60%	
2	平沼田地区における森林経営管理事業 (R7意向調査)	活動	-	-	-	50人
			-	-	-	
			-	-	-	
3						

成果	山川地区において、R4年度の意向調査により市へ経営管理権委託希望があった13haのうち、R5年度の資源量調査、R6年度の現地調査及び森林所有者からの同意取得結果等を踏まえ、経営管理権集積計画(案)を作成した。					
R8年度に向けた課題及び改善策	R6年度に作成した山川地区の経営管理権集積計画(案)に基づき、R7年度は当該エリアの森林整備と平沼田地区の経営管理権意向調査を行う。R8年度は、山川地区の森林整備と平沼田地区の資源量調査を行う。					
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

184 課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 224010404

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	4	林業振興事業	4	森林環境譲与税事業				政策的
	パリ協定の枠組みの下において、温室効果ガス排出削減目標の達成、災害防止を図るための国からの譲与税を森林整備や森林整備の促進に関する財源を基金により積み立てする。				対象	森林環境譲与税		
					手段	基金の積み立て		
				意図	森林整備や森林整備の促進に関する財源の確保			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)			R7(予算額)	
支出内訳	森林環境整備基金積立金	10,990千円		森林環境整備基金積立金	10,990千円		森林環境整備基金積立金	13,239千円		森林環境整備基金積立金	13,500千円
	合計		10,990千円			10,990千円			13,239千円		13,500千円
財源内訳/割合	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										
一般財源		10,990千円			10,990千円			13,239千円		13,500千円	
合計		10,990千円			10,990千円			13,239千円		13,500千円	
人工数	0.15人			0.10人			0.01人				
人件費		860千円			583千円			59千円			
総経費		11,850千円			11,573千円			13,298千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	積立件数	成果	1件	1件	1件	
			1件	1件	1件	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	森林整備や森林整備の促進に関する財源の確保を行った。				
R8年度に向けた課題及び改善策	継続して森林整備等に関する財源とするため、基金積立を行い、必要に応じて繰り入れを行う。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

185

課・局・室・所(係)

農業委員会事務局

事務事業番号

224010804

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	1	経営体の育成・確保及び経営基盤の強化		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	8	農地利用適正化事業	4	地域計画策定推進緊急対策事業				政策的
	令和4年5月に農業経営基盤強化促進法等が改正され、市長部局(農林水産課)は、地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を令和5・6年度で策定こととなった。これを支援するため、農業委員会ではタブレットを活用して農業者の意向把握等を行い、目標地区の素案を作成し、地域での話し合いを進める。 なお、補助金額の確定に伴い令和6年12月議会において予算を補正した。				対象	農地の所有者及び耕作者		
					手段	現状地図と目標地区の素案を作成し、提供する(農業委員会サポートシステムで作成する)		
					意図	地域資源である農地を活用しながら、将来的に残していくこと		

事業期間	R5 年度	～	R6 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳			消耗品費	74千円	消耗品費	30千円		
	合計			74千円		30千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金		10/10	74千円	10/10	30千円		
	地方債							
	その他							
	一般財源							
合計				74千円		30千円		
人工数 人件費			0.40人	1,719千円	0.95人	4,938千円		
総経費				1,793千円		4,968千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	目標地区の素案作成地区数	活動		5	4	
				5	4	
				100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	当初の計画に基づき令和6年度において「地域計画」策定に必要な農地集団化の範囲を落とし込んだ目標地区の素案(市内9地区)を作成した。					
R8年度に向けた課題及び改善策						
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
	成果	完了	完了年度	R6	-	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

186 課・局・室・所(係) 農林水産課 耕地係 事務事業番号 224020101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	2	生産基盤の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	農業基盤整備事業	1	県営農業競争力強化基盤整備事業(王喜東地区)				政策的	
事業概要	農地の大区画化及び農業水利施設の整備を実施し、農地集積・集約化を図ることを目的として、山陽小野田市埴生地区10haを含む54haの農用地について、下関王喜東地区として区画整理を実施する。 (総事業費1,700,000千円うち担金総額314.814千円)				対象	地元農家及び農地。		
					手段	県営事業として、王喜地区及び埴生地区の農地を対象に区画整理等を実施する。		
					意図	農業基盤を整備することで、中心経営体への農地の集積を促進し、農業競争力を強化する。		

事業期間	R2以前	年度	～	R8	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)				R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	県事業負担金	956千円	県事業負担金	1,598千円	県事業負担金	1,600千円	県事業負担金	4,667千円		
	区画整備		区画整備		(13,333*0.12)		(210,000*10/54*0.12)			
	(43,000*10/54*0.12)=2,489千円		13,315*0.12=1,598千円		繰越明許		繰越明許			
	繰越明許		繰越明許		(R5国補正)	4,378千円	(R6国補正)			
	(R3国補正)		(R4国補正)		(36,481*0.12)		(44,444*0.12)			
	(28,334*0.12)	3,400千円	(180,800*10/54*0.12)区画整備	4,018千円						
		(3,200*10/54*0.12)暗渠排水	71千円							
合計		4,356千円		5,687千円		5,978千円		4,667千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金	公共事業等債		公共事業等債						
	地方債	事業費*0.1*0.9	3,500千円	事業費*0.1*0.9	4,600千円	事業費*0.1*0.9	4,700千円	事業費*0.1*0.9	3,500千円	
	その他									
	一般財源		856千円		1,087千円		1,278千円		1,167千円	
合計		4,356千円		5,687千円		5,978千円		4,667千円		
人工数	人件費	0.05人	287千円	0.05人	291千円	0.11人	650千円			
総経費		4,643千円		5,978千円		6,628千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	進捗率(事業費ベース)	活動	48.8	75.8	76.0	92
			48.8	75.8	76	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	当初予算が満額内示されないため、事業工程に遅れが生じている。このため、事業工期の計画変更し、令和11年度の完成に向けて事業を行う。				
R8年度に向けた課題及び改善策	予算要求を行っているが内示が予想を下回り、事業工程が遅れている。今後も国補正予算や局繰越予算を積極的に活用し、財源を確保して事業の完了を目指す。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
	成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

187

課・局・室・所(係)

農林水産課

耕地係

事務事業番号

224020102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	2	生産基盤の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	農業基盤整備事業	2	県営経営体育成基盤整備事業(郡・川東地区)				政策的
	郡・川東地区では、ほ場整備されていないことで、作業効率や生産性が低い状況にある。そこで、水田の区画整理や水路、農道などの農業生産基盤整備を行い、効率かつ安定的な農業経営の確立を目指す。併せて、ほ場整備により、地域農業の中心的役割を担う経営体(担い手)に農地の利用集積を進め、担い手が農業生産の相当部分を担う農業構造の確立を図る。(整備予定面積:約26ha)				対象	郡・川東地区地元農家及び農地		
					手段	県営事業として、郡・川東地区の農地を対象に、ほ場整備を実施する。		
				意図	農作業の効率化と農地の区画整理による経営体の育成。			

事業期間	R3以前	年度	～	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
		R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)		
支出内訳	県事業負担金	2,145千円	県事業負担金	5,400千円	県事業負担金	3,600千円	県事業負担金	4,464千円		
	単県事業(4,290*0.5)		(45,000*0.12)		(30,000*0.12)		(37,200*0.12)			
	(戸籍簿調査・地区界測量)						(R6国補正)繰越県負担金			
							(62,800*0.12)			
合計	2,145千円		5,400千円		3,600千円		4,464千円			
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金			公共事業等債						
	地方債			事業費*0.1*90%	4,000千円	事業費*0.1*90%	2,700千円	事業費*0.1*90%	3,300千円	
	その他									
	一般財源	50%	2,145千円		1,400千円		900千円		1,164千円	
合計	2,145千円		5,400千円		3,600千円		4,464千円			
人工数	0.25人	1,434千円	0.20人	1,165千円	0.12人	709千円				
総経費	3,579千円		6,565千円		4,309千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	進捗率(事業費ベース)	活動	2.6	7.2	10.0	20.1
			2.6	7.2	10.0	
			100.00%	100.00%	100.00%	
2						
3						

成果	令和5年度に行った詳細設計・換地原案を精査し、工事発注を行った。					
R8年度に向けた課題及び改善策	令和5年度から詳細設計を実施し、令和6年度から区画整備工事を開始している。しかし、ほ場整備事業の当初予算の内示が不足しているため、完了年度に遅れが生じる可能性がある。今後は国補正予算や局繰越予算を積極的に活用し、財源を確保して事業の完了を目指す。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

188 課・局・室・所(係) 農林水産課 耕地係 事務事業番号 224020203

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	2	生産基盤の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	土地改良事業	3	小規模土地改良助成事業(追加)					政策的
事業概要	地元から要望等のあった農業用施設の改修等について、単県事業等の要件に合わないものについて市の単独事業として実施する。また、要望件数の増加等により翌年度以降に繰り越される事業が増加していることから、予算を増額し繰越件数の減少を目指す。				対象	地元農家及び農業用施設。		
					手段	地元が行う農業用施設の改修工事に補助金を交付する。		
					意図	営農の保全及び向上を図る。		

事業期間	R3以前	年度 ~	R11以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
支出内訳	助成金		助成金	1,406千円	小規模土地改良事業助成金	1,478千円			
	合計			1,406千円		1,478千円			
財源内訳 / 割合	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源				1,406千円		1,478千円		
合計				1,406千円		1,478千円			
人工数	0.07人	402千円	0.05人	291千円	0.15人	887千円			
総経費		402千円		1,697千円		2,365千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7
1	実施件数件数	活動	11	11	0
			11	11	
			100.00%	100.00%	
2	繰越件数	成果	20	19	0
			20	19	
			100.00%	100.00%	
3					

成果	人気事業のため、事業実施待ちが増加してきているので追加予算要求を行う。				
R8年度に向けた課題及び改善策	申請待ち件数が増加しているため、令和7年に予算要求を行うが、満額の内示が得られなかった。現状では3~4年待ちが発生しているため、引き続き予算要求を実施していく。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	拡大
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

189 課・局・室・所(係) 農林水産課 耕地係 事務事業番号 224020210

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	2	生産基盤の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
2	土地改良事業	10	農業用ため池管理事業				政策的	
事業概要	農業用ため池の管理及び保全に関する法律が施行され、ため池の維持管理が義務化された。防災重点ため池等のうち、管理者不明箇所及び市所有箇所について、維持管理が必要になる。ため池の草刈り等を行うことにより、早期に危険な状態が確認できるため、年次的に維持管理を行う。				対象	市が管理するため池施設。		
					手段	市が管理するため池施設の維持管理を実施する。		
					意図	ため池の危険度の確認を図る。		

事業期間	R6 年度	～	R11以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳			備品購入費	569千円			機械借上料	300千円
合計				569千円				300千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源				569千円			300千円
合計				569千円				300千円
人工数 人件費	0.07人	402千円	0.20人	1,165千円	0.17人	1,005千円		
総経費		402千円		1,734千円		1,005千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	維持管理件数	活動	4	4	4	5
			4	0	0	
			100.00%	0.00%	0.00%	
2						
3						

成果	予算がつかなかったが、引き続き要求をしていく。				
R8年度に向けた課題及び改善策	市内のため池で維持管理が行き届かない箇所が増えてきている。職員が草刈りなどの維持管理を行っているが、それを上回る箇所で開催されたため池が増えてきているため、引き続き維持管理費の予算要求を行う。				
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

190 課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 224020505

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	2	生産基盤の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	有害鳥獣対策事業	5	有害鳥獣捕獲奨励事業				政策的
	増え続ける有害鳥獣による農作物被害防止を目的に捕獲奨励のため、令和元年度からイノシシの捕獲奨励金単価の引き上げを行った。さらには、近年増加しているヌートリアの捕獲に対しても奨励金の対象とし、被害防止に努めている。また、被害防止計画の捕獲計画数を達成できるよう見直しを行いながら捕獲を奨励していく。				対象	有害鳥獣対策協議会		
					手段	イノシシ4,000円/頭・シカ5,000円/頭・サル13,000円/匹・ヌートリア2,000円/匹		
					意図	農林産物被害の減少		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	有害鳥獣捕獲奨励補助金	1,701千円		有害鳥獣捕獲奨励補助金	1,711千円		有害鳥獣捕獲奨励補助金	1,722千円	有害鳥獣捕獲奨励補助金	2,312千円
	合計	1,701千円		1,711千円			1,722千円		2,312千円	
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
一般財源	1,701千円		1,711千円			1,722千円		2,312千円		
合計	1,701千円		1,711千円			1,722千円		2,312千円		
人工数 人件費	0.05人	287千円	0.31人	1,806千円	0.51人	3,015千円				
総経費	1,988千円		3,517千円			4,737千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	捕獲計画数(イノシシ)	成果	300頭	700頭	700頭	500頭
			380頭	358頭	387頭	
			126.67%	51.14%	55.29%	
2	捕獲計画数(シカ)	成果	10頭	40頭	40頭	40頭
			24頭	44頭	28頭	
			240.00%	110.00%	70.00%	
3	捕獲計画数(ヌートリア)	成果	25頭	30頭	30頭	30頭
			24頭	23頭	4頭	
			96.00%	76.67%	13.33%	

成果	イノシシについては、目標を下回ったものの昨年度以上に捕獲することができたが、シカ及びヌートリアは昨年度を下回った。				
R8年度に向けた課題及び改善策	令和4年度から令和6年度までの捕獲頭数実績に基づき、捕獲計画数を見直すとともに、市被害防止計画の見直しを行う。				
目標達成度	C	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

191 課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 224020507

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	2	生産基盤の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	有害鳥獣対策事業	7	有害鳥獣捕獲事業				政策的
	農作物に被害を与える有害鳥獣の捕獲を促進するため捕獲業務を山口県小野田地区猟友会、山口県山陽地区猟友会に委託しているが、近年、イノシシによる被害が多発しており、市街地で有害鳥獣の出没情報が多発している。それに伴い、捕獲事業での現地確認やわな設置、見回りの回数も増加するため、出勤回数等に見合った委託料とし、有害鳥獣捕獲事業の円滑な推進を図る。				対象	山陽小野田市の各地区猟友会		
					手段	猟友会各地区に対し、有害鳥獣捕獲対応に係る業務を委託する。		
				意図	農作物への被害を最小限に食い止め、農地の保全に努める。			

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	有害鳥獣捕獲委託料	917千円	有害鳥獣捕獲委託料	1,117千円	有害鳥獣捕獲委託料	1,117千円	有害鳥獣捕獲委託料	1,117千円
	合計	917千円		1,117千円		1,117千円		1,117千円
財源内訳 / 割合	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源	917千円		1,117千円		1,117千円		1,117千円	
合計	917千円		1,117千円		1,117千円		1,117千円	
人工数 人件費	0.22人	1,261千円	0.22人	1,282千円	0.27人	1,596千円		
総経費		2,178千円		2,399千円		2,713千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	出勤人員	活動		200人	200人	200人
				937人	804人	
				468.50%	402.00%	
2						
3						

成果	有害鳥獣による農作物被害防止や市街地での出没において、現地確認から捕獲や追い払いをはじめ、わなの見回り等を行ってもらい、農作物被害の軽減が図られた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	当面は、令和7年度と同額予算で委託していくが、状況に応じて事業費を精査し、効果的に駆除できるよう検討していく。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

192 課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 224020508

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	2	生産基盤の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	5	有害鳥獣対策事業	8	有害鳥獣対策協議会支援事業				政策的
	鳥獣による農林水産物等への被害の軽減に資するため、山陽小野田市有害鳥獣対策協議会の運営費について補助しているが、被害防止計画に基づいてICTわなを購入(国交付金事業)することに伴い通信料を支払う必要がある。また、有害鳥獣捕獲時の追払備品の充実が必要であるため、協議会補助金を増額し、鳥獣被害対策を推進していく。				対象	山陽小野田市有害鳥獣対策協議会		
					手段	山陽小野田市有害鳥獣対策協議会の運営費の一部又は全部について、予算の範囲内で補助する。		
					意図	山陽小野田市有害鳥獣対策協議会の運営の円滑化を図り、鳥獣による農林水産物等への被害の軽減に資する。		

事業期間	R5	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
支出内訳	有害鳥獣対策協議会補助金	27千円	有害鳥獣対策協議会補助金	385千円	有害鳥獣対策協議会補助金	145千円	有害鳥獣対策協議会補助金	181千円		
	合計	27千円	合計	385千円	合計	145千円	合計	181千円		
	国庫支出金									
	県支出金									
財源内訳 / 割合	地方債									
	その他									
	一般財源	27千円	一般財源	385千円	一般財源	145千円	一般財源	181千円		
合計	27千円	合計	385千円	合計	145千円	合計	181千円			
人工数 人件費	0.45人	2,580千円	0.22人	1,282千円	0.45人	2,660千円				
総経費	2,607千円	総経費	1,667千円	総経費	2,805千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7	
1	協議会開催回数(書面開催を含む)	活動	1件	2件	2件	2件
			4件	2件	2件	
			400.00%	100.00%	100.00%	
2	ICTわな設置箇所数	活動	1基	2基	2基	2基
			1基	2基	2基	
			100.00%	100.00%	100.00%	
3						

成果	ICTわなを小野田地区・山陽地区に1か所ずつ親機を設置し、効率的な捕獲業務が行えるようになった。				
R8年度に向けた課題及び改善策	捕獲隊や実施隊をはじめ、関係機関と引き続き連携を図りながら、捕獲体制の強化を図りたい。				
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性			
		成果	現状維持	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

193 課・局・室・所(係) 農林水産課 水産係 事務事業番号 224020601

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	2	生産基盤の整備		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	6	漁港整備事業	1	埴生漁港整備事業				政策的
	漁船の大型化に伴う休憩、陸揚げ施設の不足、用地不足及び干潮時の水深不足による出漁制限等の作業環境の向上のため、漁港の外郭施設、係留施設、水域施設及び用地を整備する。				対象	埴生漁港		
					手段	漁港施設の整備		
				意図	水産業の生産基盤の整備を図る。			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	消耗品費	57千円	消耗品費	48千円	工事請負費	20,031千円	工事請負費	52,000千円		
	燃料費	65千円	燃料費	75千円	機械器具借上料	198千円	管理委託料	14,833千円		
	保険料	16千円	保険料	16千円	システム利用料	125千円	機械器具借上料	474千円		
	機械器具借上料	198千円	機械器具借上料	198千円	燃料費	76千円	システム利用料	125千円		
	システム利用料	123千円	システム利用料	125千円	消耗品費	52千円	燃料費	77千円		
	工事請負費	22,876千円	工事請負費(R4繰)	7,125千円	保険料	15千円	消耗品費	72千円		
					調査設計委託(R5繰)	15,083千円	その他	32千円		
	合計	23,335千円		7,587千円		35,580千円		67,613千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金	0.8	18,300千円	0.8	5,700千円	0.8	28,000千円	0.8	40,000千円	
	地方債	公共事業債(90%)	4,200千円	公共事業債(90%)	1,283千円	公共事業債(90%)	6,300千円	公共事業債(90%)	9,000千円	
	その他									
	一般財源		835千円		604千円		1,280千円		18,613千円	
合計		23,335千円		7,587千円		35,580千円		67,613千円		
人工数	人件費	0.50人	2,539千円	0.40人	1,922千円	0.46人	2,719千円			
総経費		25,874千円		9,509千円		38,299千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	事業の進捗率	成果	89	93	96	100
			82	83	86	
			92.00%	89.00%	90.00%	
2						
3						

成果	令和6年度に埴生漁港道路測量調査設計が完了し、道路を整備したことにより陸上輸送における利便性が向上した。					
R8年度に向けた課題及び改善策	漁港内用地整備に着手していくうえで、漁業者の意向を確認し事業を進めていく必要があり、整備完了後における漁港の方向性についても検討していかなければならない。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

194 課・局・室・所(係) 農林水産課 農林係 事務事業番号 224040101

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	24	農林水産業の推進	4	地域ブランドの推進		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
1	農産物ブランド化推進事業	1	圏域内道の駅等連携農林水産物販路拡大プロジェクト				政策的	
事業概要	圏域内にある道の駅等の施設に連携市町の特産品コーナーを設置するとともに各施設で行うイベントの情報提供や広報誌等の配布により、圏内農林水産物の積極的なPR活動を展開し、圏域内での新たな販路の確保・拡大に取り組む。				対象	消費者		
					手段	農村魅力創出プロジェクトによる事業運営		
					意図	販路の確保・拡大		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)			R5(決算額)			R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	負担金		50千円	負担金		50千円	山口県央連携都市圏域事業負担金	50千円	山口県央連携都市圏域事業負担金	50千円
	合計		50千円			50千円		50千円		50千円
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
一般財源		50千円			50千円		50千円		50千円	
合計		50千円			50千円		50千円		50千円	
人工数 人件費	0.05人		287千円	0.01人		58千円	0.01人		59千円	
総経費		337千円			108千円			109千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	イベント開催件数	活動	1件	1件	1件	1件
			1件	2件	3件	
			100.00%	200.00%	300.00%	
2	パンフレット作成	成果	-	-	-	
3						

成果	ナナシマチスタンプラリーに2事業者がスポット登録し、賞品を提供することで市内特産物のPRを行うことができた。 また、ビアガーデンイベントには市内事業者の出店は叶わなかったが、マルシェには市内農家も出展したことで、市内農産物等のPRを行うことができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	ナナシマチのイベントについて、市内事業者・農家へ周知し市内農産物のPRを行う。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

195 課・局・室・所(係) シティセールス課

事務事業番号 225010102

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	25	観光・交流の振興	1	観光・交流資源の整備・充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	1	観光交流資源整備事業	2	きらら交流館再整備事業	3-(1)			政策的
	きらら交流館は平成13年に建築されてから24年が経過し、設備などの老朽化に加え、利用者ニーズとの乖離が生じていたことから、設備等のリニューアルを図りつつ、素晴らしいロケーションを生かした「海辺の駅そらうみ」として改修を行う。 改修にあたっては、改修後の指定管理者を候補者として選定(指定管理者先行公募型)し、令和5年度から6年度に基本設計及び実施設計を完了させた。今後は、令和7年度に改修工事に着手、令和8年度に外構工事に着手し、令和9年中のリニューアルオープンを予定している。				対象	きらら交流館		
					手段	指定管理候補者を選定し、リニューアルオープン後の管理運営に関する提案を改修工事に反映させる		
					意図	交流人口の増加		

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳				(繰越明許)		設計委託料	45,268千円	工事請負費	614,400千円	
				報償金	12千円	手数料	557千円	監理委託料	6,900千円	
				アドバイザー業務委託料	12,709千円			設計意図伝達業務委託料	4,100千円	
								廃棄物処分業務委託料	2,000千円	
				報償金	8千円			アドバイザー業務委託料	600千円	
				測量調査委託料	343千円			手数料	300千円	
				設計委託料	18,400千円					
合計					31,472千円		45,825千円		628,300千円	
財源内訳 / 割合	国庫支出金								50%	299,450千円
	県支出金									
	地方債			75%	5,700千円	90%、75%	17,700千円	90%、75%		292,400千円
	その他			まちづくり基金	10,667千円	まちづくり基金	24,993千円			
	一般財源				15,105千円		3,132千円			36,450千円
合計					31,472千円		45,825千円		628,300千円	
人工数 人件費	1.13人	6,478千円		0.74人	4,311千円	0.60人	3,547千円			
総経費		6,478千円			35,783千円		49,372千円			

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7
1	指定管理候補者の選定	活動	指定管理候補者選定募集要項作成	指定管理候補者選定	
		完了		完了	
		100.00%		100.00%	
2	基本設計・実施設計	活動		基本設計	実施設計
				完了	完了
				100.00%	100.00%
3	改修工事	活動			改修工事着工

成果	令和5年12月に基本設計及び実施設計を一括発注としたプロポーザルを実施し、株式会社NSP設計と設計業務の契約を行った。令和6年度は実施設計に着手し、市、設計業者及び指定管理候補者とともに実施設計内容の協議を重ね、指定管理候補者の管理運営に関する提案等を反映させた設計を作成することができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	令和8年度は、令和7年度に着手した改修工事について、工事請負業者、建築住宅課、下水道課と綿密な連携を取りながら業務を進めていくとともに、外構工事、備品の選定、リニューアルオープンに向けて、指定管理候補者との協議、地元への説明等、確実に業務を進めていく必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	現状維持	コスト	現状維持	⑤
特記事項	設計業務委託先:①【選定方法】公募型プロポーザル ②【委託先】[名称]:株式会社NSP設計 [住所]:広島県広島市中区東千田町二丁目9-57 ③【委託期間】令和6年1月16日から令和7年3月31日まで					

R6年度 事務事業評価シート

196 課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 225010202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	25	観光・交流の振興	1	観光・交流資源の整備・充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	広域観光振興事業	2	山口県央連携都市圏域事業				政策的
	山口県央連携都市圏域を構成する7市町(本市、山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、津和野町)において、令和4年度からの第2期ビジョンとして、圏域住民が誇りを持てる地域づくりと、おもてなしあふれる観光地づくりを一体的に行う「観光地域づくり」の推進を図った。 具体的には、「圏域版マイクロツーリズム」の推進として、山口県7エリア周遊「リアル宝探し」や圏域周遊促進事業「キッズサマーパス」イベント、「食の回廊」周遊促進事業等を実施し、「観光地域づくり」の推進として、着地型観光の連携体制の構築・強化を図った。				対象	市内・市外の人		
					手段	広域観光資源創出プロジェクトによる事業運営		
					意図	交流人口の増加		

事業期間	R4 年度	～	R10以降 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般	
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
支出内訳	山口県央連携都市圏域事業負担金	733千円	山口ゆめ回廊観光誘客事業負担金	780千円	山口ゆめ回廊観光誘客事業負担金	780千円	山口ゆめ回廊観光誘客事業負担金	780千円	
	消耗品費	100千円	普通旅費	86千円	普通旅費		普通旅費	100千円	
	山口ゆめ回廊	730千円	消耗品費	64千円	消耗品費	40千円	消耗品費	100千円	
	圏域住民周遊促進事業負担金		山口ゆめ回廊	645千円	山口ゆめ回廊	768千円	山口ゆめ回廊	800千円	
			圏域住民周遊促進事業負担金		圏域住民周遊促進事業負担金		圏域住民周遊促進事業負担金		
合計	1,563千円		1,575千円		1,588千円		1,780千円		
財源内訳/割合	国庫支出金	地方創生推進交付金	1,095千円	デジタル田舎交付金	712千円	デジタル田舎交付金	793千円	地方創生推進交付金	840千円
	県支出金								
	地方債	新型コロナウイルス感染症対応							
	その他	地方創生臨時交付金							
	一般財源		468千円		863千円		795千円	940千円	
合計	1,563千円		1,575千円		1,588千円		1,780千円		
人工数	0.41人	1,695千円	0.56人	2,319千円	0.55人	2,504千円			
総経費	3,258千円		3,894千円		4,092千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標		R4	R5	R6	R7	
1	市の観光客数	成果	1,160,000人	1,170,000人	1,180,000人	1,200,000人
			924,324人	1,055,569人	1,095,413人	
			7970.00%	90.22%	92.83%	
2						
3						

成果	圏域内における広域的な観光PRの実施や「圏域版マイクロツーリズム」の取組により、観光客の圏域への周遊を促し、本市における観光客数の回復に貢献することができた。圏域周遊促進事業「キッズサマーパス」イベントの対象施設とした「きららガラス未来館」では、夏休み期間におけるガラス制作の体験者数が、昨年度に引き続き、大幅に増加し、利用者の約8割が市外からであったことから誘客を図ることができた。					
R8年度に向けた課題及び改善策	自治体及び観光協会の連携に加え、圏域内の観光事業者・団体等との連携体制を強化し、官民一体となり、圏域における「観光地域づくり」の推進を図る必要がある。					
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
	成果	拡充	コスト	現状維持	②	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

197 課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 225010301

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	25	観光・交流の振興	1	観光・交流資源の整備・充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	山陽小野田名産品活用推進事業	1	山陽小野田名産品活用促進事業				政策的
	山陽小野田観光協会に補助金を交付し、同協会内に設置している山陽小野田名産品推進協議会を通じ、名産品フェアの開催や関西山口県同郷会での広報宣伝活動を行い、名産品の認知度向上及び販路拡大を図った。また、令和6年度は、東京都内「おいでませ山口館」及び近隣県「JR小倉駅」での観光PRや名産品の販売を行い、本市の認知度向上及び誘客促進を図る取組も実施した。新たに工芸品及び菓子類の3品目が名産品として認定された。				対象	山陽小野田観光協会		
					手段	事業活動に対する補助金交付		
				意図	名産品の認知度向上及び販路拡大			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	山陽小野田	151千円	山陽小野田	151千円	山陽小野田	2,846千円	山陽小野田観光協会補助金	151千円		
	観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金			
	合計	151千円		151千円		2,846千円		151千円		
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	151千円	ふるさと支援基金	151千円	ふるさと・観光交流助成金	2,846千円	ふるさと支援基金	151千円	
一般財源						千円				
合計	151千円		151千円		2,846千円		151千円			
人工数	0.23人	991千円	0.20人	851千円	0.20人	933千円				
総経費		1,142千円		1,002千円		3,779千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	物産フェア等への出店、PR回数	活動	10回	10回	10回	10回
			3回	3回	4回	
			30%	30.00%	40.00%	
2	山陽小野田名産品認定数	成果	40品	40品	40品	40品
			37品	40品	38品	
			93%	100.00%	95.00%	
3						

成果	やまぐち名産品フェアでは、名産品認定事業者のうち、15社による販売を行い、3日間で約312万円の売上額となり、名産品のPR及び販路拡大に繋げることができた。これに加えて、初の試みとして、JR小倉駅において、「山陽小野田名産品フェア」を開催し、近隣県での名産品等のPR及び本市への観光誘客を図った。また、昨年度に引き続き、東京都内「おいでませ山口館」において、首都圏での名産品等のPRを実施し、販路拡大を図った。					
R8年度に向けた課題及び改善策	今後は、一過性のイベントで終わることなく、ふるさと納税等のPRにより、継続した名産品の認知度向上及び販路拡大に繋がるよう、より効果的な取組を打ち出していく必要がある。					
目標達成度	B	R8年度に向けた方向性				
	成果	拡充	コスト	現状維持	②	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

198 課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 225020202

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	25	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	観光振興事業	2	観光プロモーション事業	3-(1)			政策的
	令和6年度は、山陽小野田観光協会に補助金を交付し、R4年度に引き続き、同協会Instagramを活用した「Instagramハッシュタグキャンペーン」を実施し、本市を知ってもらい、来訪を促すことに加え、今後の情報発信の強化を図った。 また、小野田高等学校の学生が紹介する観光PR冊子「ショートショート」を作成し、観光誘客の促進を図った。				対象	市外・県外の人		
					手段	観光プロモーション動画の配信、観光パンフレット「スマイル・スポット」の配布		
				意図	本市の認知度向上、交流人口の増加			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)				
支出内訳	山陽小野田	495千円	印刷製本費	1,155千円	山陽小野田	572千円	印刷製本費	1,430千円		
	観光協会補助金		山陽小野田		観光協会補助金					
			観光協会補助金	484千円						
	合計	495千円		1,639千円		572千円		1,430千円		
財源内訳/割合	国庫支出金	地方創生交付金	247千円	デジ田交付金	242千円	デジ田交付金	286千円			
	県支出金									
	地方債									
	その他			ふるさと支援基金	1,155千円			ふるさと支援基金	1,430千円	
	一般財源		248千円		242千円		286千円			
合計	495千円		1,639千円		572千円		1,430千円			
人工数	0.15人	532千円	0.20人	851千円	0.15人	638千円				
総経費	1,027千円		2,490千円		1,210千円					

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	パンフレット制作 (日本語)	活動		2万部(日本語)		
				1万部(日本語)		
				50.00%		
2	観光協会のInstagram公式アカウントのフォロワー数	成果	1,500人	2,000人	3,000人	3,000人
			2,494人	3,231人	3,999人	
			166.30%	127.80%	133.33%	
3						

成果	このたびは、観光とかなた文化を掛け合わせた「写真で一句こんてすと」を実施し、本市の魅力を実践的にPRする行うことができた。また、約260名の新規フォロワーを獲得することができたことから、今後のInstagramを活用した情報発信の強化を図ることができた。その他に、小野田高等学校の学生と連携し、本市の観光地を題材とした短編小説を作成し、市外に向けて観光誘客を図った。					
R8年度に向けた課題及び改善策	認知度向上及び観光誘客の促進を図ることに加え、観光消費額の増加につながる取組を検討する必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
	成果	拡充	コスト	現状維持	②	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

199 課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 225020205

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	25	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	2	観光振興事業	5	ゴルフ場PR事業				政策的
	当該事業では、本市における観光資源の1つである「ゴルフ場」にスポットを当て、本市を「ゴルフのまち」としてPRすることにより、本市の認知度向上及び誘客促進を図ることを目的とする。 令和6年度は、前年度に作成したパンフレットを北部九州及び県内のゴルフ練習場に掲出し、ゴルフの魅力発信を行った。 また、翻訳版のパンフレットを新たに作成し、観光協会主催インバウンドツアーや商談会等において活用し、海外からの観光誘客及び観光消費の増加を図った。				対象	市外・県外の人		
					手段	紙媒体(パンフレット)の制作及び配布により市内6か所のゴルフ場への誘客促進を行う		
					意図	観光客数の増加		

事業期間	R5 年度	～	R10以降 年度	予算種別	新規	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳			報償金	8千円	パンフレット作成	996千円		
			パンフレット制作	990千円	業務委託料			
			業務委託料					
	合計			998千円		996千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金		デジ田交付金	495千円	デジ田交付金	497千円		
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			503千円		499千円		
合計			998千円		996千円			
人工数 人件費			0.25人	1,142千円	1.15人	638千円		
総経費				2,140千円		1,634千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	ゴルフ場利用者数	成果	270,000人	271,000人	272,000人	273,000人
			279,538人	280,162人	270,530人	
			103.53%	103.38%	99.46%	
2						
3						

成果	翻訳版のパンフレットを新たに作成し商談会等において活用し、海外からの観光誘客を図った。 また、山陽小野田観光協会と連携を図り、市内完結型の韓国インバウンドツアーを造成し、29名に参加いただいた。当該ツアーでは、新たに作成したパンフレットを活用し、市内での飲食及びお土産品の購入を促し、観光消費を促した。					
R8年度に向けた課題及び改善策	今後の取組については、ツアー実績等を効果検証し、ゴルフ場事業者と協議の上、ゴルフ場の利用促進及び市内への観光誘客の促進につなげる取組を検討する必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
		成果	拡充	コスト	現状維持	②
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

200 課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 225020302

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	25	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	観光推進組織支援事業	2	観光誘客宣伝事業				政策的
	山陽小野田観光協会の情報発信経費について補助金を交付し、地域おこし協力隊「西広ショータ」と連携を図り、観光協会ホームページやSNS(フェイスブック、インスタグラム等)を活用した観光情報の発信や、県外イベントや旅行会社への売り込みに参加することに加え、観光パンフレットやノベルティグッズ(ウェットティッシュ、PRキャラクター付箋等)を作成し、イベント参加者に対し配布することで本市の観光資源の認知度向上を図り、交流人口の増加に繋げた。				対象	山陽小野田観光協会		
					手段	事業活動に対する補助金交付		
				意図	交流人口の増大による観光振興の推進			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
支出内訳	山陽小野田	357千円	山陽小野田	657千円	山陽小野田	600千円	山陽小野田	300千円	観光協会補助金	観光協会補助金
	観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金			
	合計	357千円	657千円	600千円	300千円					
財源内訳/割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	357千円	ふるさと支援基金	657千円	ふるさと支援基金	600千円	ふるさと支援基金	300千円	
	一般財源		千円							
合計	357千円	657千円	600千円	300千円						
人工数	0.09人	352千円	0.13人	443千円	0.13人	519千円				
総経費		709千円		1,100千円		1,119千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	市の観光客数	成果	1,160,000人	1,170,000人	1,180,000人	1,200,000人
			924,324人	1,055,569人	1,095,413人	
			79.70%	90.22%	92.83%	
2	山陽小野田観光協会ホームページ、SNSのビュー数	成果	180,000ビュー	320,000ビュー	335,000ビュー	350,000ビュー
			336,108ビュー	504,025人	1,103,141人	
			186.70%	157.51%	329.30%	
3						

成果	地域おこし協力隊「西広ショータ」と連携を図り、観光協会ホームページやSNS(フェイスブック、インスタグラム)等による情報発信を行い、目標値の3倍以上である100万回を超える閲覧となり、効果的な情報発信を行うことができた。また、県外における観光PRイベントにも積極的に参加し、観光プロモーション及び名産品、ふるさと納税のPRを実施した。					
R8年度に向けた課題及び改善策	引き続き、地域おこし隊と連携を図り、若い世代の情報ツールであるインスタグラムでの情報発信に力を入れ、インスタグラムから協会ホームページへの閲覧を促し、市内の観光スポットや飲食店等を広く周知することで、情報発信を強化していく必要がある。					
目標達成度	A	R8年度に向けた方向性				
	成果	拡充	コスト	現状維持	②	
特記事項						

R6年度 事務事業評価シート

201 課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 225020304

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	25	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	観光推進組織支援事業	4	観光ボランティアガイド活動支援事業			交流	政策的
	山陽小野田観光協会において、観光ガイド団体が実施する事業に対し、助成金を交付し、活動を支援した。 ガイド派遣事業では、他市町とのガイド料の均衡を図るため、ツアーを受け入れた場合のガイド料の一部を補助した。				対象	山陽小野田観光協会		
					手段	事業活動に対する補助金交付		
				意図	観光客へのホスピタリティの向上			

事業期間	R2以前	年度	～	R10以降	年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)			
支出内訳	山陽小野田	33千円	山陽小野田	56千円	山陽小野田	31千円	山陽小野田	50千円		
	観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金			
	合計	33千円		56千円		31千円		50千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他	ふるさと支援基金	33千円	ふるさと支援基金	56千円	ふるさと支援基金	31千円	ふるさと支援基金	50千円	
一般財源										
合計		33千円		56千円		31千円		50千円		
人工数 人件費	0.06人	180千円	0.06人	192千円	0.06人	230千円				
総経費		213千円		248千円		261千円				

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	観光ガイド派遣件数	成果	20回	20回	20回	20回
			11回	10回	11回	
			55.00%	50.00%	55.00%	
2	観光ガイド育成研修会	活動	2回	2回	2回	2回
			0回	1回	0回	
			0.00%	50.00%	0.00%	
3						

成果	ガイドツアーでは、観光客を対象にセメントの歴史や文化、厚狭の街並みなどと本市の魅力を知ってもらい、PRを行うことができた。				
R8年度に向けた課題及び改善策	観光ガイド派遣事業の認知度は、ほぼ皆無のため、観光協会ホームページ等を活用し、当該事業の周知を行い、ガイド利用者を増やし、交流人口の増加を図っていく必要がある。				
目標達成度	C	R8年度に向けた方向性			
		成果	拡充	コスト	現状維持
特記事項					

R6年度 事務事業評価シート

202 課・局・室・所(係) シティセールス課 観光振興係 事務事業番号 225020305

施策体系	大項目(章)		中項目(基本施策)		小項目(基本事業)			
	4	産業・観光	25	観光・交流の振興	2	情報発信・誘客体制の強化・充実		
	実施計画名		事務事業名		重点プロジェクト	横断的施策	スマイルエイジング	事業区分
事業概要	3	観光推進組織支援事業	5	ゆめ散歩プログラム持続的実施事業				政策的
	令和3年度の山口県連携都市圏域(7市町)周遊型イベント「山口ゆめ回廊博覧会」では、山陽小野田市主体事業として、ゆめ散歩造成事業(6プログラム)及び地域資源活用事業(2プログラム)を造成した。これらのプログラムは、地域資源を組み合わせた魅力的なものであり、交流人口の増加を図ることができるため、山陽小野田観光協会の主催事業「スマイルゆめ散歩」として実施した。				対象	山陽小野田観光協会		
					手段	事業活動に対する補助金交付		
					意図	交流人口の増大による観光振興の推進		

事業期間	R4 年度	～	R6 年度	予算種別	継続	臨時	会計種別	一般
	R4(決算額)		R5(決算額)		R6(決算額)		R7(予算額)	
支出内訳	山陽小野田	328千円	山陽小野田	9千円	山陽小野田	14千円		
	観光協会補助金		観光協会補助金		観光協会補助金			
	合計	328千円		9千円		14千円		
財源内訳 / 割合	国庫支出金	地方創生推進交付金	163千円	デジタル交付金	4千円	デジタル交付金	6千円	
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源		165千円		5千円		8千円	
合計		328千円		9千円		14千円		
人工数 人件費	0.29人	1,007千円	0.25人	828千円	0.12人	460千円		
総経費		1,335千円		837千円		474千円		

※上段:目標 中段:実績 下段:達成率

活動指標又は成果指標			R4	R5	R6	R7
1	イベント(体験型プログラム及び地域資源活用事業)の実施	成果	11回	4回	4回	
			11回	1回	2回	
			100.00%	25.00%	50.00%	
2	イベント参加人数	成果	118人	36人	36人	
			107人	7人	7人	
			90.70%	19.44%	19.44%	
3	市の観光客数	成果	1,160,000人	1,170,000人	1,180,000人	
			924,324人	1,055,569人	1,095,413人	
			79.70%	90.22%	92.83%	

成果	ガラスや竜王山などの本市の地域資源を活かした2プログラムのツアーを造成したが、催行人員に達しなかったため、1プログラム(「竜王山ネイチャーツアー」)のみの催行となった。参加者からは、現地で多数のアサギマダラが確認できたことに加え、ツアーガイドの案内についても好評をいただき、来年も訪れたいとの意見が多数あった。					
R8年度に向けた課題及び改善策	今後については、山陽小野田観光協会で地域資源を活かしたツアーを造成し、観光誘客を図る必要がある。					
目標達成度	C	R8年度に向けた方向性				
	成果	完了	完了年度	R6		-
特記事項						